

『女性柔道家が輝くために』

～新潟県の女子柔道の未来について語ろう～

実施報告

【目的】

- ・世代（年齢）を超えた女性柔道家の交流。
- ・新潟県の女子柔道の現状と未来について、様々な立場の人から一緒に考えてもらう。

【日時・会場】

令和7年11月24日（月・祝） 午前9時30分～11時30分

新潟テルサ 3F 大会議室

新潟市中央区鐘木185-18

☎025-281-1888

【講師】

川原 久乃 氏

講道館女子6段

埼玉県柔道連盟 理事

埼玉県女子柔道振興委員会 委員長

2025・2026 国スポーツ埼玉県女子チーム監督

【参加者】

小学生 4名

中学生 4名

高校生 2名

社会人・保護者 12名

スタッフ・県柔連関係者 12名

合計34名



【内容】

9 : 0 0 ～ スタッフ打ち合わせ

9 : 1 5 ～ 参加者受付

9 : 3 0 ～ 開会式

9 : 4 0 ～ 講義

『埼玉県女子柔道振興委員会の取り組みについて』

1 0 : 4 0 ～ グループトーク

『新潟県の女子柔道の未来について語ろう』

新潟県の女子柔道の現状・問題等を出し合い、
何ができそうかアイデアを出す。

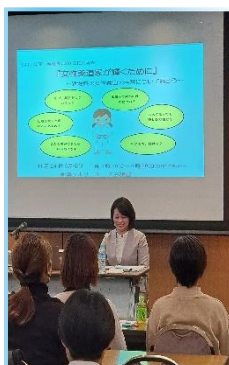
グループ A 社会人・保護者・指導者

グループ B 社会人・保護者・指導者（男性含む）

グループ C 小学生・中学生・指導者（男性含む）

グループ D 中学生・高校生・指導者（男性含む）

全体で発表



1 1 : 4 0

閉会式



【感想（参加者の声）】

- ・女子選手の今後のことをしっかりと考えることができるイベントだった。
- ・年齢に関係なく、現状や、やりたいことなどを話し合えて楽しかった。
- ・柔道のことを学んだり、たくさんの人と話し合って楽しかった。
- ・久しぶりに柔道に触れる機会があっておもしろかった。
- ・女子の教え子がいるので、参考になった。
- ・女性のために集まって意見を出し合う貴重な機会、とても楽しかった。
- ・女子柔道の普及についてのアイデア、エチケットガイドなど、男性指導者が踏み込み辛い点などの啓発アイデアが大変勉強になった。
- ・埼玉県の取り組み、素晴らしいと思った。
- ・保護者として、いろいろな方のご意見が聞ける機会があり、ありがたかった。
- ・他県ではいろいろなイベントがあり、楽しそう。

【まとめ】

今回、山田委員長の大学時代の後輩であるというご縁を活かし、お忙しい中、川原先生には講師を快諾していただきました。そして、埼玉県のお話をきかせていただきました。

小学生女子の縦割り団体戦、某店舗内で行う柔道体験など、ぜひ、新潟でもやってみたい！との声があがっていました。また、エチケットガイドも、男性指導者や、保護者の方にとって、魅力的なアイテムだったようです。

今回参加してくれた小・中・高校生で最も声に上がっていたのが練習環境についてでした。

女子が少ないことから、思うような練習ができない。体格差などから、思いっきり技を出せないなどの話が多く聞かれ、女子の練習会をやりたい！という意見がどのグループからも出されていました。また、SNS等を利用して、広く情報発信を行い、活動を広めていく案も出されました。

まずは、できるところから、取り組んでいこう！となりました。

早速、新潟県女性委員会のInstagramを作成・発信。12月に女性だけの練習会を企画しました。これらを定着させ、活動を行っていきたいと思います。

また、今回発表された、

小学生・中学生のアイデア、『柔道万博』

中学生・高校生のアイデア、『女子会付き練習会』

保護者からは、『子どもから教わる保護者の柔道教室』『カルチャースクールとしての柔道』

これらのアイデアもぜひ、実現させてみたいと思います。



新潟県柔道連盟 女性委員会
土屋 千春